

平成20年度

業務実施状況のあらまし

みくりが池より立山連峰を望む
(ブナ坂国有林 富山森林管理署)

中部森林管理局は「日本の屋根」とよばれる日本アルプスを含む、富山県、長野県、岐阜県、愛知県の国有林を管理しています。「3つの交流」をキーワードとして、開かれた「国民の森林」としての管理経営、「美しい森林づくり」に向けた積極的な取組を進めています。

【水の交流】

上下流が連携して森林を守り育てる取組を積極的に進め、各流域における水を通じた交流を推進



漁民の森林づくり

【人の交流】

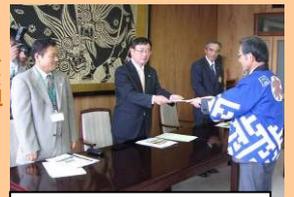
各種活動を地域との協働や連携を図りながら、人の交流を促進



ボランティアによる植生復元作業

【木の交流】

生産者から消費者までの木を通じた交流を推進



地域材利用拡大要請

平成20年度の主な取組事項

○ 新たな政策課題への率先した取組

1. 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進
2. 国有林野の維持及び保存
3. 国有林野の林産物の供給
4. 国有林野の活用
5. その他国有林野の管理経営
6. 国有林野の事業運営



平成21年9月
中部森林管理局

○ 新たな政策課題への率先した取組

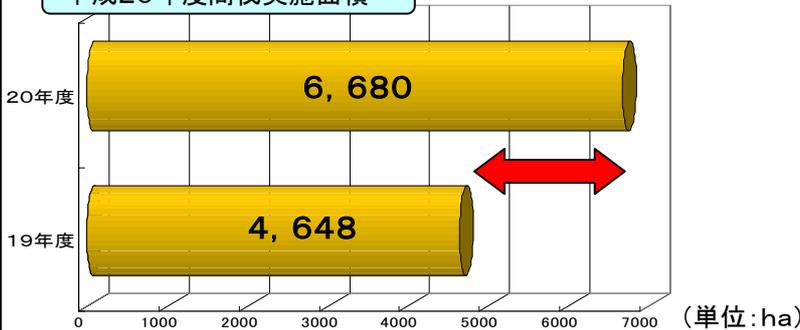
(1) 地球温暖化防止対策の推進

○ 地球温暖化防止に向けた京都議定書における我が国の温室効果ガス削減目標6%のうち、1300万炭素トン(基準年排出量比3.8%)を森林による吸収量で確保することを目標に、国有林野事業においても「京都議定書目標達成計画」等を踏まえ多様で健全な森林の整備・保全や木材利用、国民参加の森林づくり等に率先して取り組みました。

ア 森林吸収源対策の推進(間伐等森林整備の実施)

・適切な森林経営による吸収量の確保に向け、間伐などの森林整備等を進め、19年度と比べ1.4倍の間伐を実施するなど、森林吸収源対策の推進に努めました。

平成20年度間伐実施面積



イ 木材利用の促進等

・林道・治山事業において、積極的に木材を利用した工種・工法を採用し、木材利用の推進に努めました。

林道・治山事業による木材の使用状況 (単位: m³)

区分	20年度実績	(参考) 19年度実績
林道事業	1,834	1,552
治山事業	8,635	8,612



場所: 長野県上松町 おがわいり
小川入国有林
木曾森林管理署

・庁舎等の新・改築時に積極的に「地域材」を使用しました。



場所: 長野県長和町 和田森林事務所新築 東信森林管理署

・木づかい推進月間中(10月)、林業関係団体等と連携して管内各県・市町村などに対し、公共施設等への木材の積極的な利用等について要請しました。



場所: 愛知県名古屋市 愛知県庁

(2) 生物多様性の保全

- 生物多様性基本法が平成20年6月に公布されるなど、野生生物や生息環境、生態系全体のつながりを含めて保全する施策の展開が期待されています。このため、間伐等による多様で健全な森林の整備・保全の推進に加え、生物多様性保全に係る地域に根ざした情報収集や国民の理解の醸成のための取組を行いました。

ア 地域情報の把握、地域住民との連携強化

- ・生物多様性保全等の観点から地域の情報を把握し、地域住民の皆様の理解の醸成と生物多様性の保全等に資する森林の取扱いの一層の推進を図るため、森林計画樹立に合わせて流域を単位として懇談会等を開催し、地域住民との連携強化に取り組みました。
- ・20年度は、千曲川下流(北信)及び宮・庄川(飛騨)森林計画区において、地区懇談会を開催し、地域住民との意見交換等を行いました。

地区懇談会の開催



場所:長野県長野市



場所:岐阜県高山市

イ 野生鳥獣との共存に向けた取組

- ・ニホンジカにより農林産物や貴重な高山植物等への被害が広範囲において発生し、深刻な問題となっています。
- 国有林としても地域と連携した対策として、仙丈ヶ岳の馬の背周辺への防護柵や食害防止ネットの設置、野生鳥獣保護管理対策協議会が実施する広域捕獲などへの協力などを積極的に進めました。

ニホンジカによる高山植物等の被害対策



くろこうち

場所:長野県伊那市 黒河内国有林
南信森林管理署

ウ 国民の理解の醸成

- ・生物多様性の保全のためには、森林整備を進めることも重要であるとの理解を深めるため、長野市及び松本市において、「大型猛禽類の生態と森林施業について」の講演会を開催し、大学関係者やイヌワシ研究者、一般市民の方々の参加によるパネルディスカッションを実施しました。

大型猛禽類の生態と森林施業について



場所:長野県長野市



場所:長野県松本市

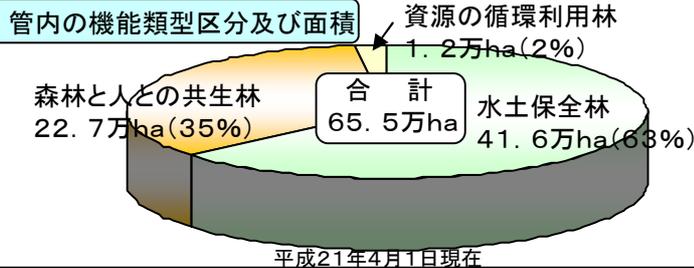
1 国有林野の管理経営に関する基本方針に基づく管理経営の推進

(1) 公益的機能の維持増進を旨とした管理経営

○ 国土の保全や水源かん養等の公益的機能の維持増進を旨とした管理経営を推進するため、多様で健全な森林整備、林地保全に配慮した森林整備のための路網の整備、荒廃地の復旧などの治山事業を計画的に進めました。

ア 重視される機能に応じた管理経営の推進

・公益的機能の維持増進を目的として、間伐を進めたほか、長伐期施業や育成複層林施業等による多様で健全な森林の整備を推進しました。



育成複層林施業



おちあい
場所: 岐阜県下呂市 落合国有林 岐阜森林管理署

イ 路網の整備

・森林の適切な整備・保全を行うため、林地の保全に十分配慮しながら、路網の整備を進めました。

作業道等の新設状況

区分	20年度実績
作業道	8.8km
林道	3.2km

・高密度路網と高性能林業機械による低コスト・高効率作業システムについて、管内10署で取り組み、現地検討会の開催などによる民有林への普及・定着にも努めました。

低コスト・高効率作業システムの普及・定着



場所: 岐阜県中津川市
ゆふおきわ
湯舟沢国有林
東濃森林管理署



ウ 治山事業の実施

・管内は日本の代表的な二つの構造線(大断層)が走っているなど、山地災害の危険性が高い地域であることから、安全で安心できる暮らしの確保に向け、荒廃地の早期復旧や保安林の整備を計画的に進めました。

治山事業の状況

区分	20年度実績	(参考) 19年度実績
けい かん こう 溪 間 工	140 基	238 基
さん ぶく こう 山 腹 工	104 ha	115 ha
しゅう すい せい 集 水 井	3 基	0 基

- ・治山事業の重要性などの理解を深めてもらうため、地域住民等を対象に事業説明会等を開催しました。
- ・民有林と国有林との連携による効果的な治山対策のため、県との連絡調整会議等を開催しました。
- ・岩手・宮城内陸地震への対応として職員を東北森林管理局に派遣し、自然災害へのすみやかな対応と災害箇所早期復旧に協力しました。

地域住民への治山事業の説明



まつかわいり
場所: 長野県飯田市 松川入民有林直轄治山事業地
伊那谷総合治山事業所

荒廃地の復旧工事



かみこうち
場所: 長野県松本市 上高地国有林
中信森林管理署

(2)国民の森林としての管理経営

○ 開かれた「国民の森林」の実現に向けて、森林環境教育の推進、双方向の情報の受発信、NPO等による森林づくりの支援、自然再生活動など国民ニーズに応えた取組を推進しました。

ア 森林環境教育の推進

- ・将来を担う小中学生を中心に「森林環境教育」を実施しました。
20年度の実施→365回開催、延べ12,604名が参加（内出前授業を、43回開催、延べ1,250名が参加）
- ・小学校等の教職員の皆さんを対象に、森林・林業に関する基礎知識や体験活動の技術が習得できるよう「森林体験学習研修会」を長野県と愛知県で開催しました。
- ・家族で森林に親しむ企画として、新たに「親子の森林体験教室」を開催。9家族、21名が参加しました。
- ・学校等と協定し、森林教室や森林体験活動等の場として国有林野を活用いただきました。（遊々の森）
20年度 新規2箇所 → 管内12箇所に設定
- ・名古屋市民等を対象に、森林のもつ多面的機能等について、楽しみながら理解を深める「森林ふれあい講座」を8回開催しました。



森林環境教育

場所：愛知県瀬戸市
しろうこうじ 定光寺自然休養林
愛知森林管理事務所



遊々の森

場所：長野県富士見町
にしだけ 西嶽国有林
南信森林管理署



親子の森林体験教室

とがし
場所：長野県長野市 戸隠国有林 北信森林管理署

イ NPO等による森林づくりの支援

- ・森林づくりを希望するNPO団体等と協定し森林整備活動等の場として活用いただきました。（「ふれあいの森」10箇所）また、職員の派遣、技術指導を通じ活動を支援しました。
- ・都市住民の方を対象に公募し、森林とふれあい、森林整備や自然環境保全活動等に参加いただきました。（「名古屋シティ・フォレスター（C・F）事業」を14回実施）



ふれあいの森

場所：愛知県設楽町
だんど 段戸国有林「穂の国みんなの森」
愛知森林管理事務所



名古屋C・F事業

場所：岐阜県恵那市
かみむらえな 上村恵那国有林
東濃森林管理署

ウ 木の文化を支える森づくり

- ・重要文化財に指定されている神社仏閣等の歴史的な木造建造物や、各地の祭礼行事、伝統工芸等次代に引き継ぐべき木の文化を守るため、国民の皆さんの参加による「木の文化を支える森づくり」（5箇所）を進めました。
このうち「檜皮の森」では、（社）全国社寺等屋根工事技術保存会主催の全国研修会が開催されました。



檜皮の森

しずも
場所：長野県南木曾町 賤母国有林
木曾森林管理署南木曾支署

エ 自然再生活動の実施

- ・「中央アルプス木曾駒ヶ岳森林生態系保護地域」等において、地元自治体、NPO等と連携し、高山植物等の植生復元のための植生マットを布設しました。



植生の復元作業

あかほ
場所：長野県駒ヶ根市 赤穂国有林 木曾森林環境保全ふれあいセンター

2 国有林野の維持及び保存

(1) 森林の巡視、病虫害の防除等適切な森林の保全管理

○ 高山帯から里山まで広範囲にわたる国有林野について、地元自治体やボランティア団体等と連携して、森林病虫害等の森林被害の把握や林野火災、不法投棄等の未然防止などに取り組むとともに、民有林等との境界の巡視などを計画的に行いました。

ア 森林の巡視及び境界の保全

- ・グリーン・サポート・スタッフ(公募・86名)が、管内の日本百名山を中心に、利用マナーの指導啓発、植生保護・清掃活動等を実施しました。(延べ2,514人)
- ・関係行政機関や山岳関係者等をメンバーとする高山植物等保護対策協議会の活動の一環として、ボランティア団体等の協力も得て「高山動植物保護パトロール」を4月から12月に実施しました。(延べ5,299人)
- ・「国民の森林」クリーン月間である7月を中心に不法投棄一斉パトロールや地元自治体・各種団体等と連携したクリーン活動を実施しました。

高山植物等の保護啓発活動



場所: 長野県王滝村 御岳国有林
岐阜県下呂市 落合国有林
木曾・岐阜森林管理署



場所: 富山県立山町 ぶな坂国有林
富山森林管理署

イ 森林病虫害等の防除

- ・各地域における松くい虫被害の状況等に応じ、伐倒駆除等総合的な被害対策を実施しました。
- ・カモシカ、ニホンジカ、ツキノワグマ等の獣害対策として防護柵、ポリ被覆、テープ巻などを実施しました。

松くい虫被害対策



場所: 長野県長野市 朝日山 国有林 北信森林管理署

獣害(クマ)被害対策



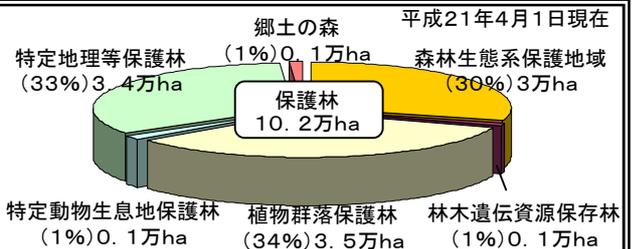
場所: 長野県木曾町 黒石 国有林 木曾森林管理署

(2) 保護林など優れた自然環境を有する森林の維持・保存

○ 優れた自然環境を有する森林や希少な野生動植物が生息・生育する国有林野については、保護林として厳正に保全・管理するなど森林生態系を維持・保存するとともに、設定後の森林や動物等の状況変化を調査し、これら動植物の保全・管理や区域の見直し等に役立てるモニタリング調査を実施しました。

保護林や緑の回廊の設定及び保全・管理の推進

- ・保護林設定後の状況を客観的に把握するため、森林や動物等の状況変化を調査するモニタリング調査を実施しました。
平成20年度→庄川、千曲川上流、揖斐川、千曲川下流、宮・庄川の5流域で現地調査を実施。
- ・管内4カ所全ての「緑の回廊」において、森林の状況と野生動植物の生息・生育実態を把握するためモニタリング調査を実施しました。
- ・貴重な野生動植物の保護を進めるため、「希少野生動植物種保護管理事業」や「保護林保全緊急対策事業」等を実施し、生息・生育状況の把握や生息・生育環境の保全、整備等を進めました。



緑の回廊位置図



モニタリング調査



場所: 岐阜県高山市 金木戸国有林 (森林生態系保護地域) 飛騨森林管理署

3 国有林野の林産物の供給

(1) 計画的な収穫の実施

- 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を進めることを基本として、自然環境の保全等に十分な配慮を行いながら、多様で健全な森林の整備を通じて、木材の持続的・計画的な供給に努めました。

歴史的木造建造物の修繕、伝統工芸等に必要な「木曽ヒノキ」をはじめとする特産樹種を、資源の保続や天然林の保護に配慮しつつ、供給しました。

収穫の実施状況等

収穫の実施状況

(単位:千m3)

区分	20年度実績	(参考)19年度実績
主伐	43	36
間伐	523	365
計	566	401

・平成25年に予定されている第62回伊勢神宮式年遷宮用の資材として、木曽ヒノキを供給しました。

・穂高神社(長野県安曇野市・20年ごとに遷宮)の資材としてコメツガを供給しました。

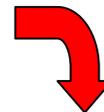
また、拝殿にも木曽ヒノキが用いられています。

ひだ しゆん けい ぬり あじろざいく あららぎひのきかさ

・飛騨春慶塗、網代細工、蘭檜笠など地域の伝統的工芸品用の資材として木曽ヒノキやネズコなどを供給しました。

特産樹種の供給

場所:長野県川上村



場所:長野県安曇野市 穂高神社

(2) 林産物等の販売

- 木材の需給状況や木材産業の動向など林産物の生産・販売を巡る状況を的確に把握し、戦略的な生産・販売に努めました。

安定的な販売の実施

販売の実施状況

(単位:千m3)

区分	20年度実績	(参考)19年度実績
立木販売	17	21
素材販売	161	122
計	178	143

・安定的な供給により、国産材需要の拡大を図るため、一定の要件を満たす工場等と協定を締結する計画的な販売(システム販売)を行いました。

20年度 → 新たに9件(23,000m3)の協定を締結。前年度からの継続分と合わせ60,000m3の木材を計画的に供給。(対前年度比160%)

木材の安定供給システム



場所:長野県信濃町 黒姫山国有林(写真上)
長野県長野市 北信木材センター(写真下)
北信森林管理署

4 国有林野の活用

(1) 国有林野の貸付・売払い

○ 国有林野の所在する地域の社会経済的状況、住民の意向等を踏まえ、地域における産業の振興、住民の福祉の向上に資するよう、地元自治体等に対して国有林野の貸付け・売払いを行いました。

国有林野の貸付、林野・土地の売払い

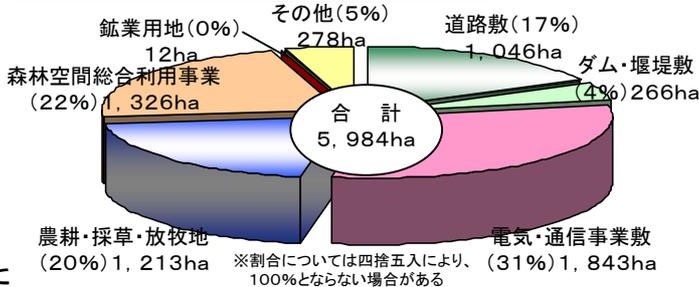
林野・土地の売払状況

区分	20年度実績	(参考)19年度実績
林 野	94.0	48.2
土 地	0.6	0.5
合 計	94.6	48.7

・庁舎、公務員宿舎の集約化等により余剰となった敷地の活用を図るなど、事業実行上不可欠なものを除き売払いを実施しました。

20年度 → 地域産業の振興を目的に工業団地用地として上松町の買受要望により0.9haを売払。

平成20年度末 国有林野の貸付割合



土地の売払



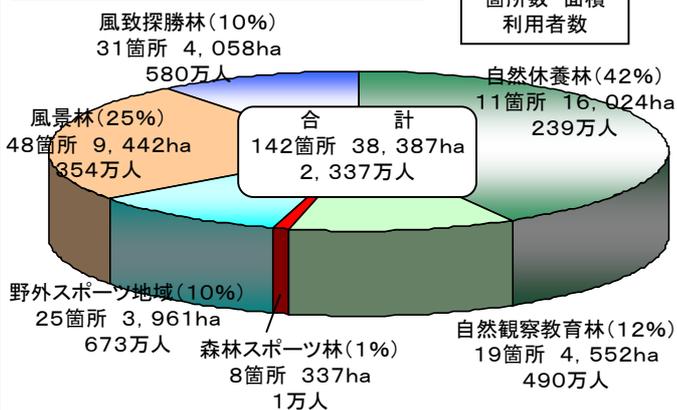
場所:長野県上松町
木曽森林管理署

(2) 「レクリエーションの森」の利用の推進

○ 優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林を「レクリエーションの森」として国民の皆さんに提供するとともに、その快適な利用を図るためボランティア等の協力も得ながら歩道等の整備を行いました。

「レクリエーションの森」

「レクリエーションの森」の設定状況



注: 箇所数、面積は平成21年4月1日現在の数値であり、利用者数は平成20年度実績(延べ人数)である。合計にはその他13ha(歩道等単独施設)を含む
面積については、種類ごとの小数点以下四捨五入のため合計面積と一致しない

・木曽御岳自然休養林内に位置する「田の原天然公園」を主な活動の場とする「田の原天然公園の環境を守る会」とアサヒビール(株)が資金の提供と社員による歩道の修繕等のボランティア活動の実施を内容とするオフィシャルサポーター協定を締結しました。

「レクリエーションの森」オフィシャルサポーター協定締結



場所:長野県上松町
木曽森林管理署



おんたけ
場所:長野県王滝村 御岳国有林 木曽森林管理署

5 その他国有林野の管理経営

地域振興等への寄与

- 計画的な木材の供給、事業の民間委託等を通じた事業者の育成や就労の場の提供、国有林野の貸付けや売払い、森林空間の総合利用などを通じて、地域産業の振興、地域の活性化、住民の福祉の向上等へ寄与しています。

地域振興への寄与

森林空間総合利用

チャオ御岳スノーリゾート



場所: 岐阜県高山市
借受者: 飛騨森林都市企画株式会社
運営: 飛騨森林都市企画株式会社

野沢温泉スキー場

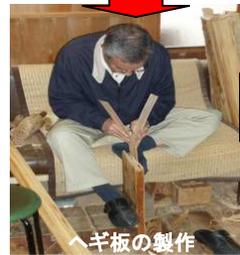


場所: 長野県野沢温泉村
借受者: 野沢温泉村
運営: 野沢温泉株式会社

地域の伝統工芸に必要な資材の供給



場所: 長野県上松町
木曾森林管理署

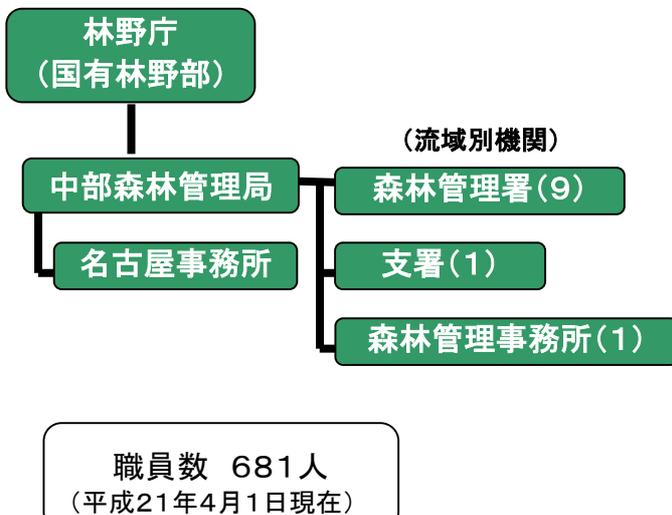


6 国有林野の事業運営

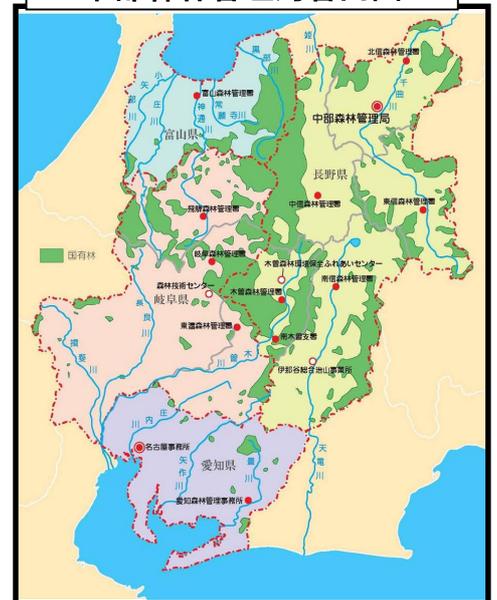
管理経営の事業実施体制

- 管内森林(約243万ha)の約3割を占める66万haの国有林野を主な流域ごとに設置している11の森林管理署等により、民間委託の推進、ITの活用、労働安全衛生の確保などに取り組みながら、効率的な管理経営に努めています。

組織図



中部森林管理局管内図



用語の解説

用語	解説	用語	解説
育成複層林施業 <small>いくせいふくそうりんせぎょう</small>	森林を構成する樹木を部分的に伐採し、そのあとに植林を行うこと等により、年齢や高さの異なる樹木から構成される森林(複層林)を造成する森林づくりの方法。	作業道 <small>さぎょうどう</small>	林道を補完し、除間伐等の作業を行うために作設される簡易な構造の道。
温室効果ガス <small>おんしつこうか</small>	地球から宇宙への赤外放射エネルギーを大気中で吸収して熱に変え、地球の気温を上昇(地球温暖化)させる効果を有する気体の総称。代表的なものに二酸化炭素(CO2)、メタン(CH4)、一酸化二窒素(N2O)等がある。これらの排出には人間の生活・生産活動が大きく関与している。	長伐期施業 <small>ちやうばつせぎょう</small>	通常、主伐が行われる年齢(例えばスギの場合60年程度)のおおむね2倍以上の年齢で主伐を行う森林施業の一形態。
主伐 <small>しゅばつ</small>	次の世代の森林の造成を伴う森林の一部または全部の伐採。	ふれあいの森 <small>ふれあいのもり</small>	自主的な森林整備活動を行うボランティア団体等と森林管理署等との協定締結により、森林整備を行う制度。
間伐 <small>かんばつ</small>	育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。	法人の森林 <small>ほうじんもり</small>	一般企業等が社会貢献活動としての森林づくり、社会貢献の場としての森林づくりを通して、国土保全、森林資源の造成を目的として整備を行う森林。
木の文化を支える森づくり <small>きのぶんかを支えるもり森づくり</small>	地域の伝統行事、伝統工芸、歴史的木造建築物等の継承に貢献するため、地域の協議会等と森林管理署等との協定締結により、国民参加による森林づくり活動を推進する制度。	保護林制度 <small>ほごりんせいど</small>	原生的な天然林や、貴重な動植物の保護、遺伝資源の保存等を目的として、区域を定め、禁伐等の管理経営を行うことにより、森林を保護する国有林野事業の制度。森林生態系保護地域、植物群落保護林等。
京都議定書目標達成計画 <small>きょうとぎていしょくもくひょうたつせいけいかく</small>	「地球温暖化対策推進法」に基づき、京都議定書の6%削減約束を確実に達成するために必要な措置として、森林吸収源対策、温室効果ガスの排出源対策などを明らかにした政府の計画。	緑の回廊 <small>みどりかいろう</small>	保護林同士をつなぎ、いろいろな野生動植物が自由に行き来できる生活の場を広げるなど、貴重な森林生態系を守るために作られた空間(通り道)。
高性能林業機械 <small>こうせいのうりんぎょうきかい</small>	従来のチェーンソーや集材機等と比べて、作業の効率や労働強度の軽減等の面で優れた性能をもつ林業機械。主な高性能林業機械は、プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、スイングヤーダ。	木材の安定供給システム <small>もくざいあんていききやうシステム</small>	木材の需要・販路の確保などを目的として、一定の要件を満たす工場等と森林管理局長が木材の販売に関する相互協定を結び、その協定に基づき計画的に販売すること。
国有林モニター <small>こくゆうりん</small>	国有林野に関心のある国民の皆さんへ幅広く情報を提供するとともに、アンケートや意見交換を通じていただいた御意見・御要望等を管理経営に活かすための制度。モニターは、公募により選定。	遊々の森 <small>ゆうゆうもり</small>	学校等と森林管理署等との協定締結により、様々な体験活動の場として国有林野を利用する制度。
素材販売 <small>そざいはんばい</small>	樹木を伐採し、丸太にして販売すること。	レクリエーションの森 <small>レクリエーションのもり</small>	国有林野のうち、人と森林とのふれあいの場として、国民の保健及び休養に広く利用されることを目的に指定した森林。①自然休養林、②自然観察教育林、③風景林、④森林スポーツ林、⑤野外スポーツ地域、⑥風致探勝林等に分類。
立木販売 <small>りゅうぼくはんばい</small>	樹木を伐採することなく、立木のままで販売すること。		



「平成20年度 業務実施状況のあらまし」の問い合わせ先
 総合窓口：中部森林管理局 企画調整室 企画調整係
 (TEL:050-3160-6507(IP) FAX:026-236-2657)
 (ホームページ：<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/>)